
 彙報

京都大学文学部哲学科卒業論文題目

——昭和四十六年三月——

哲学専攻

入江 重吉 Heidegger 論理学に於ける現実性の弁証法的開示

牧野 広義 ヘーゲル論理学における「矛盾」の概念

明野 潔 カントの認識論・序説

片桐 博 マルクス主義哲学の認識論と真理の問題

塚本 正明 時間の問題

——Heidegger, Sein und Zeit を主要な手引きとして——

西洋哲学史専攻

後藤 正寛 Hegel に於ける方法の変動の必然性

中川 純男 告白と魂

——アウグスティヌスに於ける——

山本 千洋 『バイドン』に於けるイデアについて

矢野 直 カントにおける存在の問題

矢島 誠司 フットサルに於ける時間意識の現象学的分析

岡村 信孝 「純粹悟性概念の超越論的演繹」について

富樫 政夫 Platon, Phaidon に関する研究

幡谷 憲二 サルトル哲学における「意識」概念

藤田 圭一 カントの認識論におけるカテゴリーと物の関係について

村田茂太郎 「哲学」の成立次元

——「場所の論理」ということ——

岡崎 文明 ソリロキアに於ける根本問題

森内 正彬 カントの「物自体」について

印度哲学専攻

永ノ尾信悟 Ramana (Griahasya) についての一考察

——Mokṣasādhana を中心として——

近藤宏八郎 Parinama 学説とその批判

——Sankara の Brahmastra Bhasya (1—5) を中心として——

徳永 宗雄 Papati 思想の歴史的展開

中国哲学史専攻

池田 秀三 晏子の思想とその思想的意義

向井 哲夫 原始儒家思想に於ける自然と人間

岡崎 民三 中国近代思想の形成

——梁啓超「新民説」を中心として——

心理学専攻

乾 とよ子 幼児の概念形成についての一考察

小国 美子 商業新聞への学生の接触態度に関する一考察

北川 広志 連想に及ぼす感情性の効果

田中賢治郎 態度の構造と変容についての一考察

高取憲一郎 *multitrial free recall* における主観的体制化の研究

高橋 良枝 学級集団構造とリーダーシップについての一研究

長棟 啓子 言語機能の発達

中沢 郷治 社会意識の形成と構造についての一考察

治田真理子 対人認知についての研究

藤井 彰子 学生集団における慣行的態度の実態

石田 雅昭 生きがいについて

岩田 雅之 ミュラー・リヤー錯視に関する研究
——*Perspective theory* の検討——

椎野 幸男 不安

三河 達明 集団魅力と斉一性に向う行動との関係についての相互状況的分析

横山 良文 連続刺激に対する反応時間

倫理学専攻

原 知之 現代における技術と人間

美学美術史専攻

岡部由紀子 ドイツ表現主義論

稲次 保夫 阿弥佗来迎図について

奥田 芳雄 カントの美学について

辻 美智子 室生寺五重塔

社会学専攻

梅田 敏文 マーティンの機能分析における目的論的性格について

杉本 利彦 テレビ・メディアの特性について

多田羅 徹 音楽社会学

蓮見 和夫 社会意識と階級構造

光井不由人 一農村社会の実態

——共同研究を通じて——

井上真理子 社会運動の研究

小林 孝行 *Roger Caillois* の研究

下大迫良一 所謂「日本ファシズム」論への一視点

松枝憲一郎 都市化の社会学的考察

宗教学専攻

水見 潔 精神の自己確信における道徳性

海老沢聖子 ベルグソン『道徳と宗教の二源泉』の一視点

広沢 隆之 ヘーゲル精神現象学
——自己意識を中心として——

時岡 隆志 *Nietzsche* 研究序説

——*Nietzsche, Zarathustra, 超人* について

仏教学専攻

辻村 泰彦 十地経の考察

—— 初地・六地を中心として ——

佐々木恵精 プッタパーリタ根本中論註の研究

基督教学専攻

勝村 弘也 パウロにおける共同体思想

—— キリストの体についての考察を中心として ——

京都大学大学院文学研究科修士課程修了

論文題目 (但、哲学系のみ)

—— 昭和四十六年三月 ——

哲学専攻

碓井 敏正 デカルトにおける観念の二義性と実在性

小川 侃 時間と自由

—— シェリングとベルグソンをめぐる試論 ——

小林 道夫 デカルト哲学と心身問題

中沢 義和 *La nature et l'homme chez Bergson*

細野 陽一 デカルト『省察』の研究

三村 兼義 プラトンの論理

—— 『ソピステス』におけるコイノニアとロゴス ——

ス ——

上村 貞幸 カルナップ『世界の論理的構成』の一検討

加藤 哲雄 ベルグソンにおける記憶について

能見勇八郎 『創造的進化』における認識と存在

平井 邦男 持続の観念と形而上学

—— ベルグソン哲学における問題点 ——

渡辺 博 カントの時間論を中心とした先験的統覚

中国哲学史専攻

山口 三夫 莊子内篇齊物篇における中心的思想の性格とその

基盤について

申 勝察 周建國神話の変遷

—— 特に尚書・詩経を中心として ——

印度哲学史専攻

竹中 智泰 *Kumāria Bhāṭī* の普遍 (*Sāmānya*) の概念—— *Śloka-vārtika* “*Ākṛti-vāda*,” “*Yan-vāda*” を

中心として ——

武田 耕道 *Saṅgītarahitana* の研究—— 特に第一章 (*svarata dhyāya*) を中心として ——

西洋哲学史専攻

駒村 和子 アウグスティヌスに於ける精神の眞の自己認識

—— 『三位一体論』第十四巻を中心にして ——

水田 英実 神と類概念

四日谷敬子 ハイデッガーに於ける物と思惟

村上 一三 アウグスティヌスの三位一体論と形而上学

尾関 周二 ヘーゲルにおける矛盾と概念把握の問題

宗教学専攻

岩本 光悦 Hegel に於ける世界の概念

仏教学専攻

御牧 克己 仏教に於ける恒常性批判と刹那滅論証

沖 和史 Citāvatā

—— Dharmakīrti, Prajñākaragupta の論述——

基督教学専攻

早乙女礼子 ルターの「俗権論」にみられる二王国論について

鈴木 裕雄 超越と内在の媒介の場

島崎 暉久 青年ゲーテとキリスト教

心理学専攻

北村 依子 短期記憶における文字系列の再認と再生

駒田 朋子 図形同定におけるラベリング効果

高橋 明美 幼児の空間把握

寺田ひろ子 第二信号系獲得期における末端投写活動を主として

た発達連関の研究

堀田 千秋 リーダーシップに関する一研究

——状況の関数としてのリーダーシップ機能の

考察——

大倉 正暉 逆転視野における知覚的適応

社会学専攻

加賀美智子 近代日本の庶民意識

中道 実 社会的上昇移動論

——現代日本における指導者形成の社会的諸要

因——

吉田 浩 疎外諸現象の理論的体系的考察

赤塚 民三 「コトバ」と社会体系

飯沢喜士朗 M・ヴェーバー「カリスマ革命の理論」

佐野 昌子 母性の社会学的研究

青木 康容 認識の社会学的条件に関する一考察

長沼 節夫 差別と偏見のメカニズム

美学美術史専攻

安藤 邦洋 カントに於ける芸術の問題

熊倉 順一 理想の歴史性と芸術家

——ヘーゲル『美学』から——

潮江 宏三 ウィリアム・ブレイクの絵画

五十嵐節子 カロリンガ朝写本絵画について

松本 宏揮 平安時代後期の書に於ける和様についての一考察

哲学研究 第五百二十一号

三浦信一郎 カントの趣味判断の構造について
沢田 吉孝 記号理論の検討

京都大学大学院文学研究科博士課程単位修

得者研究論文要旨(但、哲学系のみ)

——昭和四十六年三月——

哲学専攻

山形 頼洋 他人知覚と身体図式
木曾 好能 志向性

西洋哲学史専攻

田中 敦 フッサールの超越論的哲学
田中 邦夫 ソクラテスの定義とプラトン哲学
長倉 久子 トマスにおける自然と恩寵
——人間の究極目的を中心に——
大島 春子 ヴィクトリーヌにおける Generatio について
若林 博子 Aristoteles 哲学に於ける或る断面
——死すべき者と、不死なるものと、哲学と——

基督教学専攻

大島 征二 クムラン宗団とマタイにおける神・律法・人間存
在

社会学専攻

中野 正大 機能主義の現状と課題
千葉モト子 パーソナリティと社会構造の研究

美学美術史専攻

太田 喬夫 美学におけるフッサールの現象学の意義
——戦前ドイツの現象学派の美学の克服のため
に——

太田 孝彦 室町時代の水墨画史

相——十五世紀後半に於ける座敷絵制作の様

京都大学文学部哲学科講義題目

——昭和四十六年度——

※…二回生が履修できる専門科目
〔共〕…大学院と共通
院…大学院のみ

哲学

講義 教授 野田 又夫 ※哲学概論
研究 教授 野田 又夫 歴史哲学の諸問題
" 講師 杉原 丈夫 論理学における哲学的諸問題
〔共〕

講読 講師 種山 恭子 Platon : Apologia Socratis
 " 助手 筒井 文隆 Bergson : La Pensée et le mouvant

印度哲学史

講義 教授 松尾 義海 ※印度哲学史
 研究 教授 松尾 義海 Darśana の研究 [共]
 " 助教授 服部正明 Prasastipāda, Padārtha-dharma-samgraha の研究 [共]

" 講師 宇野 惇 Syadvādanāntari の研究 [共]
 " 講師 北川 秀則 Arthasamgraha の研究 [共]

演習Ⅰ助教授 服部正明 Upanisads [共]
 " Ⅱ助教授 服部正明 Yānuācārya Āgamapāra-nānya [共]

" Ⅲ教授 松尾 義海 Vyāsa, Yogahāya [共]
 講読 助教授 服部正明 Frauwallner, Untersuchungen zum Mokṣa dhama などの他 [共]

中国哲学史

講義 教授 湯浅 幸孫 ※中国思想史
 研究Ⅰ教授 福永光司 淮南子の研究 [共]
 " 淮南子に現われた老荘思想の研究 [共]

" Ⅱ助教授 吉川忠夫 六朝隋唐の排仏論 (東洋史学と共通) [共]
 " Ⅲ教授 湯浅 幸孫 方東樹の漢学批判 (院)

演習Ⅰ助教授 尾崎雄二郎 劉師培：中国文学教科書Ⅰ [共]

文字学導論(中国語学中国文学と共通)
 王先謙：荀子集解 [共]
 唐鑑万…潜書 [共]
 明末清初の王学者の著書
 顧炎武：日知録 (院)

演習Ⅱ助教授 西田太郎 王先謙…荀子集解 [共]
 " Ⅲ教授 湯浅 幸孫 唐鑑万…潜書 [共]
 " Ⅳ教授 湯浅 幸孫 明末清初の王学者の著書 [共]

心理学

講義 教授 園原 太郎 ※心理学の方法と理論
 " 教授 園原 太郎 ※発達心理学概論

" 助教授 柿崎祐一 ※知覚心理学概論
 " 助教授 木下富雄 ※社会心理学概論(心理学Ⅲ)

" 助教授 倉石精一 臨床心理学概論 (教育学部と共通)
 " 教育学部 梅本堯夫 教育学部 坂野 登 学習心理学概論 (教育学部と共通)

" 教育学部 助教授 柿崎祐一 知覚の理論 [共]

研究 助教授 本吉良治 学習記憶の心理生理的機制 (院)
 " 助教授 中島 誠 音声科学の研究 [共]

" 助教授 木下富雄 (言語学と共通) (院)
 " 助教授 葺阪良二 集団のサイズの研究 (院)

" 助教授 葺阪良二 生理心理学の諸問題(前期) (院)

講読

講師 Jan Van Bragt H. Bergson : The Two Sources of
(教授 武内義範) Morality and Religion (Ⅲ)
(宗教学と共通)

演習

教授 池田 義祐 社会学の諸問題 (院)
助教授 中 久郎 B. J. R. Gusfield : Protest, Reform and
Revolt (院)

社会学

講義

教授 池田 義祐 ※社会学概論
教授 池田 義祐 社会関係論(後期)
助教授 中 久郎 社会的行為論(前期) (共)
教授 江藤則義 近代ドイツ社会学の成立—その前史
との連関において— (共)

講読

東ア研 教授 江藤則義 社会学の現代的課題 (院)
助教授 水野浩一 J. Steward : Theory of Cultural
Change
講師 豊島 寛城 H. P. Bahdt : Wege zur Soziologie,
1966

教養部
教授 作田啓一

価値の社会学理論(倫理学と共通)

美学美術史

講義

教授 井島 勉 ※美学序説
助教授 清水善三 ※日本美術史概論

講師 上子 武次

家族社会学

(共)

講師 杉之原寿一

部落差別の本質と現状

(共)

講師 仲村 祥一

社会問題の認識論(後期)

(共)

講師 真田 是

現代の社会問題(前期)

(共)

講師 間場 寿一

政治的文化と政治体系

(共)

理学部
教授 池田次郎

人類学(考古学・心理学と共通)

(共)

理学部
助教授 伊谷純一郎

社会調査の基礎理論と技法(教育学
部と共通)

(共)

講師 浜口 恵俊

社会学の理論と応用

(共)

演習

教授 池田 義祐
助教授 池田 義祐
中 久郎
R. A. Nisbet : The Social Bond, 1970

演習 I

教授 武田 恒夫 金碧障屏画論 (共)

演習 II

助教授 吉岡健二郎 美学美術史学の諸問題 (共)

演習 III

助教授 井島 勉 美術史学の現地指導 (共)

講読

助教授 吉岡健二郎 美学美術史の諸問題 (院)

講読

助教授 吉岡健二郎 E. Uitz : Geschichte der Ästhetik (共)

講読 教養部 新田博衛 R. G. Collingwood : The Principles of Art, 1938

宗 教 学

講義 教授 武内 義範 ※宗教学概論 〔共〕

研究 教授 武内 義範 人倫と宗教

教授 教授 石田 仁 歴史的理性批判の問題 〔共〕

教授 教授 堀 一郎 民間宗教史の諸問題 〔共〕

教授 教授 西村 嘉彦 フランス実存哲学の研究 〔共〕

演習 教授 武内 義範 Hegel : Phänomenologie des Geistes (VI, C) 〔共〕

講師 稲葉 稔 Kant : Grundlegung zur Metaphysik der Sitten (西洋哲学史・倫理と共通) 〔共〕

講師 田中 英三 Leibniz : Principes de la nature et de la grace ; Monadologie 〔共〕

講師 田中 英三 Bergson : The Two Sources of Morality and Religion (倫理学・共通) 〔共〕

講師 フアン・ブ ラント 義範 Kant : Die Religion innerhalb der Grenzen der blossen Vernunft. 〔共〕

教授 武内 義範

助手 藺田 坦

講師 城崎 進

講師 城崎 進

講師 城崎 進

講師 城崎 進

講師 城崎 進

講師 城崎 進

講師 城崎 進

研究 講師 高崎 直道 如来藏思想研究 〔共〕

演習 助教授 梶山雄一 Taitvasangraha 〔共〕

助教授 梶山雄一 藏文『広破論』他 〔共〕

助教授 雲井 照善 パーリ語仏典選集 〔共〕

助教授 荒牧典俊 『撰大乘論』 〔共〕

助手 田村 智淳 Samadhiraja-sutra 〔共〕

基 督 教 学

教授 武藤 一雄 ※基督教教学序説 〔共〕

教授 武藤 一雄 キリスト教の神観 〔共〕

教授 武藤 一雄 ギリシヤ教父の哲学思想 〔共〕

教授 平石 善司 新約思想史序説(前期) 〔共〕

教授 野本 真也 「ローマ人への手紙の研究」 〔共〕

教授 G. Lloyd ルター研究序説 〔共〕

教授 今井 晋 K. Rahner, Hörer des Wortes 〔共〕

教授 武藤 一雄 基督教の諸問題 〔院〕

教授 佐藤 一雄 H. V. Campenhausen, Lateinische Kirchenväter 〔共〕

教授 佐藤 一雄 古典ヘブライ語文法(西南ア史と共通) 〔共〕

教授 佐藤 一雄 旧約聖書ヘブライ語原典講読(後期) 〔共〕

教授 佐藤 一雄 西南ア史と共通 〔共〕

教授 佐藤 一雄

教授 佐藤 一雄

教授 佐藤 一雄

教授 佐藤 一雄

教授 佐藤 一雄

教授 佐藤 一雄